南北１６０㎞「心をつなぎ　気概に満ちた」十島の教育

十島村教育委員会だより　令和7年4月号

さわやかトカラ情報

〒892-0822
鹿児島市泉町13番13号
TEL099-227-9771

発行
十島村教育委員会

【新緑なれど個の緑，個の色，個の光！】

十島村教育委員会教育長　木戸 浩

“目には青葉　山ほととぎす　初鰹”は江戸時代の俳人山口素堂の有名な俳句です。山々には新緑が芽吹き，ほととぎすを始めとするたくさんの鳥たちもさえずり，そして海では鰹も捕れるという，五感を味わう季節の到来を表しています。3つとも初夏の季語ですが，今の新学期にもぴったり合う俳句ではないでしょうか。

一瞬の華やかさを演出する桜も散り，葉桜へと変わりました。桜の種類は日本全国で五百種類以上あるそうです。その中でも代表格のソメイヨシノが，あと30年後には温暖化で咲かなくなるのではと危惧されているそうです。十島村にも県の天然記念物に指定されている，諏訪之瀬島のツクシヤマザクラが白い可憐な花を咲かせてくれていました。その桜の花を中心に，各学園では新1年生の入学式と7年生の進級式を島民の方々が盛大に祝福していただきました。ありがとうございました。新入生だけでなく，どの子も新年度に向けて，希望を胸に瞳を輝かせていることと思います。新緑の緑といっても様々な緑があります。子どもたち一人一人の個性も様々です。自分の色を，光を放つためにこれから精一杯頑張ってくれることでしょう。その子どもたちの個性を花開かせるために先生方も，最大限の努力を惜しみなく発揮してくださいます。島民の方々の御協力をよろしくお願いします。

〈各島・各学園に留学生と先生方が到着されました。〉

4月2日のフェリーとしま2で，今年度十島村の各学園に赴任される先生方28人が各島に向けて出航しました。

今年は順調に口之島に早朝5時に接岸し，順を追って中之島，諏訪之瀬島，平島，悪石島，そして小宝島と進みましたが，残念ながらランプウエイが下りず，車とバイクが下ろせませんでした。上り便でなんとか下ろすことができました。そして宝島にお昼頃に到着して，全ての島に予定どおり着任することができ，児童・生徒と地元の方々に盛大な歓迎を受けたところです。

新しい山海留学生や今年度も継続して残った留学生は，4日のフェリーとしま2で，各島に降り立ちました。初めて留学してきた子どもたちは，少し緊張した様子だったようですが，こちらも盛大な歓迎を受け，ほっとしていたようです。次の上り便で，同行して来島してきた保護者との別れの際は，大粒の涙も流れていたようですが，直ぐにそれぞれの島に慣れ親しんでくれることと思います。

現在，口之島と新しく開設された中之島の留学生寮が，寮監さんが決まらず，地元の方に臨時的に対応していただいているところです。全国に求人募集をかけていますが，なかなか見付かりません。皆様の知り合いの方で，御夫婦で寮監をやってみたいという方がいらっしゃいましたら，教育委員会まで御一報いただけたら有り難いです。

教育委員会としましても，子どもたちの安心・安全を第一に，そして教職員を含め，全村民の方々の健康を守るために，これまでどおり全力で，学校教育・社会教育・社会体育を充実させ，文化財等も振興しながら，今年度も頑張ってまいりたいと思います。

今年度も「さわやかトカラ情報」を村内全世帯にお配りします。御一読をお願いしつつ，今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

十　島　村　で　学　ぶ

【3年目。小宝島生活を振り返る。】
小宝島学園９年　前田　志

9年生に進級し，小宝島生活3年目，島立ちを迎える年を迎える。これまでの2年間を振り返り，私が感じる小宝島の魅力を紹介する。

最初，小宝島に来た時，スーパーやコンビニがなく，都会では見ることのない景色に囲まれている小宝島での生活にとても不安があった。しかし島民の方々は，私が困っている時いつも優しく助けてくださり，うれしいことがあれば一緒に喜び，笑ってくださった。まるで家族のように接してくださるおかげで島での不安がなくなり，楽しく生活をすることができるようになった。そんな島民の方々のぬくもりは小宝島の魅力だ。

また，自然との距離が近いことも魅力の一つだ。視界いっぱいに広がる海の色，山々の緑，赤く咲き誇るハイビスカスなどは私の心をいつも癒してくれる。特に小宝島のシンボルの一つ，赤立神から朝日が顔を出す光景は私のお気に入りだ。

そして小宝島の最大の魅力として外せない釣り。本土では釣ることのできない数多くの魚が釣れる小宝島。いつ，何の魚が釣れるかわからないドキドキ感が私を夢中にさせてくれる。さらに一年で一シーズンしかない，トビウオが小宝島にやってくる時期には，トビウオを追いかけてくるロウニンアジという魚を求めて，全国各地からたくさんの釣り客がやってきて港は賑わう。そこで互いに言葉をかけあったり，タモ入れを手伝ったりと，島での魚釣りは人と人とをつなぐ魅力も持っている。

振り返ってみると，言葉では言い尽くせない島の魅力や思い出がある。私は小宝島で，人と人との出会いの大切さを学び，自然の素晴らしさなどを知った。3年前に小宝島を知り，親が背中を押してくれたこと，小宝島で多くの人に出会えたことに感謝している。ラスト一年間，小宝島での生活を満喫したい。

令和７年３月２６日　南日本新聞「若い目」

高校でもがんばって

平島学園　三年　内藤　聡一

三月十一日、平島学園の第一回そつ業式としゅう了式がありました。ぼくやみんなは、六年生とそつ業して平島から島立ちする九年生のために、いろいろじゅんびをしてきました。

シートをしいたり、花をかざったりしました。式や歌の練習もしました。最初は、歌がむずかしかったけど、上手に歌えるようになってきました。むずかしかった座礼のタイミングも、できるようになりました。

本番がきました。ぼくはきんちょうしませんでした。なぜなら、そつぎょうはさみしいけど、九年生が自分のみ来を進んでいけるのが、うれしかったからです。

そつ業したたった一人の九年生へ。いっしょに活動したそうむ委員会のときに、わらってくれてありがとう。とてもうれしかったです。

高校でもがんばってね。

セブンアイランド移動図書が始まります

４月末より各島を巡回するセブンアイランド移動図書が始まります。本年度は，寄贈本を含めて200冊の本が各島を巡回します。県立図書館の本も一緒に巡回します。

新しい本との出会いを楽しみにしていてください。

～令和7年度ファミリー劇場開催予定～

口之島会場	6月28日	落語
中之島会場	5月17日	ジミー入枝コンサート
諏訪之瀬島会場	7月12日	硫黄島ジャンベチーム
平　島会場	10月25日	弦楽四重奏
悪石島会場	9月13日	三島村ジャンベ
小宝島会場	12月６日	マジック
宝　島会場	7月12日	アンサンブル

スマホやインターネットの正しい利用

スマホやインターネット利用によるネット犯罪やネット依存が問題となっています。

情報収集や情報発信にあたっては，法的なルールや自己規制の大切さを理解させてください。

【口之島学園からのメッセージ】
口之島学園　教頭　永田　豪

口之島学園に赴任して，気がつけば3年目を迎えました。着任した日のことは，今でも鮮明に覚えています。フェリーの欠航が続きに続き，着任できたのはまさかの4月6日。朝5時に口之島に着き，港での歓迎式で出迎えいただいた後，住宅への荷入れが始まり，一息つく間もなく，いきなり新任式・始業式，そして入学式。教員人生の中で，後にも先にもこのような日を経験することは二度とないのではと思ったほどでした。

私にとって，口之島学園が初めての離島勤務となります。海での水泳・カヌー学習や伝統的な追い込み漁体験，子供たちも楽しみにしている海釣り大会，島立ちする卒業生や転出職員・児童生徒を送り出す港見送り式など，海に囲まれた環境を生かした，口之島ならでは（だからこそ）の特色ある学校教育活動がたくさんあります。

十島村の学校は，小学1年生から中学3年生（9年生）までが一緒に学ぶ小中一貫の義務教育学校ということもあり，それぞれの発達段階で，子供たちの成長をたくさん見ることができます。さらに，山海留学制度で，全国各地から来る子供たちとも一緒に学ぶことができます。子供たちにとっても，本来の学校なら，なかなか巡り会うことのない仲間と出会えたこの縁を大切にしてほしいと思います。

こうした特色ある教育活動や子供たちとの出会いは，教師としての貴重な経験となっています。

また，島民の方々の支えには，公私ともに日々感謝しかありません。入学式・卒業式は多くの方々が見守ってくださるなか実施します。運動会をはじめ，様々な行事においても，皆さんの支え無しではできないことばかりです。他にも，学校施設や車の調子が悪いときすぐに駆けつけてくださる方や学校に荷物を届けてくださる方，私を息子のように気にかけてくださる父・母のような方，何でも頼れる兄のような存在の方など，人の温かさがあふれ，島全体が家族ようなのこの島の雰囲気が，私はとても大好きです。

口之島で過ごした日々は，私の人生の中で絶対に忘れられない日々になると思います。

『教職員仲間であるあなた』への　私からのメッセージ

いよいよ新年度が始まり，忙しい日々だと思いますが，十島の子供たちのために，同じ十島の教職員仲間として互いに頑張っていきましょう！夏の村教研で皆様にお会いできるのを楽しみにしています。